



福祉まつりふれあい広場2018の様子【関連記事5ページ】

日本体育大学・当別町・北海道銀行との連携について



北海道医療大学 学長 浅香 正博

日本体育大学・当別町・北海道銀行と本学との連携協定は9月7日(金)に締結される予定でしたが、前日に発生した北海道胆振東部地震の影響により11月に延期となりました。こうなることは予想もつかなかったため、取材を受けていた北海道新聞には8月31日(金)付けで、「北海道医療大学、日本体育大学、当別町、北海道銀行の4者がスポーツ、地方創生で協定を結ぶ」という記事がかなりのスペースで掲載されました。

連携協定に至った経緯を簡単に述べると、2018年4月下旬に宮司正毅当別町長から「当別町は日本体育大学との連携を考えてこれから動こうと思っているが、北海道医療大学はこの件に関し、興味はありませんか」との連絡がありました。すぐに東郷重興理事長に連絡したところ、「進めの方が良い」との返事を得ましたので、この連携協議に参加したい旨、返事しました。これがすべての始まりです。

その後、6月4日(月)に日本体育大学を宮司町長、東郷理事長とともに訪問し、意見交換をして参りました。日本体育大学は1949年に日本体育専門学校から移行して創立されており、現在、体育学部、スポーツ文化学部、スポーツマネジメント学部、児童スポーツ教育学部、保健医療学部の5学部を有する我が国最大の体育系総合大学です。我々が訪問した世田谷キャンパスは、東京世田谷の一等地に約4万平方メートルの広大な敷地を有しており、新校舎が建設されたばかりでし

た。ここで今村裕常務理事とお会いし、日本体育大学について詳しい説明を受けました。日本体育大学は横浜にも17万平方メートルもの敷地を有し、体育館のほか、公式大会で使用できる陸上競技場、50mプール、野球場、サッカー場、ラグビー場、テニスコートなどが整備されています。オリンピック選手を多く輩出したことで知られており、これまで我が国が獲得したオリンピックの金メダルの約40%は日本体育大学の学生または卒業生とのことでした。

その後、日本体育大学の関係者が来学され、両者の連携がお互いにプラスとなるかどうかについて慎重に話し合いが行われました。その結果、二つの大学が連携することによってお互いを補完できる可能性が高いという結論に至りました。競合分野が少なく、協力することによるメリットが大きいことが理解できたのです。11月5日(月)に正式の連携協定書を取り交わしましたが、当初は緩やかなものからスタートして様子を見ていくこととしました。まずは日本体育大学の札幌での入試を本学の札幌サテライトキャンパスで行い、本学の東京での入試を日本体育大学の世田谷キャンパスで行うことから始まりそうです。

今後、さらに検討を深め北海道医療大学の発展に寄与できるよう進展させたいと考えていますので、皆様には期待いただきながら温かく見守っていただきたいと思います。

【関連記事12ページ】

CONTENTS

日本体育大学・当別町・北海道銀行との連携について	1
新任教員・昇任教員紹介	2
言語聴覚療法学科の高倉樹祐助教が最優秀研究発表賞を受賞。	
2018年度 語学研修 アルバート大学(カナダ)において語学研修を実施しました。	
2018年度 国際交流	3
OPEN CAMPUS 2018 開催報告	4
福祉まつりふれあい広場2018 参加レポート	5
2019年度入試結果速報	6
札幌丘珠高等学校との高大連携授業を実施。札幌開成中等教育学校特別講義を実施。	
地区別懇談会を開催	7
学内合同就職相談会を開催	
私の学生時代	8
OB訪問【臨床福祉学科】	9
あのととき。これから。医療大。	10
2018 SCP(学生キャンパス副学長)任命式	11
大学院歯学研究所の原文文也さん(現・歯学部助教)がデュアルディグリーを取得。	
2018年度(第24回)SCRIP日本代表選抜大会で本学が臨床部門第1位入賞。	
歯学部の岡山三紀講師がアジアベンチプレス選手権大会で金メダルを獲得。	
TOPICS	12
EDITOR'S NOTE	